



第 1708 回例会

平成 24 年 6 月 18 日 (月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
3. ゲスト紹介 ガバナー補佐 塩路 良一 様
4. 出席報告
会員総数 59 名 出席者数 38 名
出席率 64.41% 前回修正出席率 72.88%

5. 会長スピーチ

今、我々が日常当たり前のように使っているパソコン、携帯、家電製品の材料に、レアアースやレアメタルというものが必ず必要なこと、そしてその 100%近くを輸入に頼っているという事実は、皆さんよくご存知でしょう。

数ヶ月前、中国が不当にレアアース(希土類)の輸出制限をしているとして、日米欧が世界貿易機関(WTO)に提訴したというニュースが流れました。中国はレアメタル(希少金属)についても輸出規制しており、WTOは米欧の提訴を受け違反認定をしています。この様な中国の行為は、自国の国益だけを優先するというロータリー精神に全く反するもので、特に、今年度のテーマである“博愛”や

“懐の深さ”というものに欠けています。しかし、中国は国際ロータリークラブに参加していないため、何も言えません。産出が中国に偏っていることは世界最大のレアメタル消費国である日本にとっては大きなリスクを抱えている事になります。そのため、いざという時に供給がストップしないように特に供給に不安のある 7 種の金属については、国はもちろん民間レベルでも備蓄がおこなわれています。

しかし、今回のように供給側の生産調整リスクは避けられないことから、安定供給の方法として「都市鉱山」が注目されています。この言葉はご存知の方が多

会長 田村 健治 君



いと思いますが、廃棄されたパソコン、携帯電話や家電製品などの資源ゴミから貴金属やレアメタルを取り出し、リサイクルするところから生まれた言葉です。日本は世界最大の都市鉱山を持つと言われています。日本の都市鉱山の蓄積量は、例えば金なら世界の現有埋蔵量の 16%に相当する量だそうです。同じように銀は 22%、錫 11%、タンタル 10%、インジウム 16% となっており、かなりの量が日本に存在しています。しかし、「蓄積量」とは散在している量のことであって、資源として利用可能な「埋蔵量」とは違います。中にはゴミとして捨てられ、埋められてしまったものもあり、それらは資源として再利用はできません。色々な形で散在している金属をいかに効率的に回収するかが重要です。

蓄積されている形は大きく分けると 3 つが考えられます。①工場で出るスクラップ。これは回収再生可能で既におこなわれています。②ゴミとして捨てられたもの。これは先に述べたとおり再利用不可能です。これから課題となるのは③で消費者の手元にある家電、電子機器等です。例えば携帯電話一台から取り出せる金属はわずかです。効率的に取り出せなければコストに見合わないため、リサイクル事業は進まず、正に宝の持ち腐れとなります。今後の課題としては、1、メーカーは製品を作る段階からリサイクルしやすい設計にすること。2、回収システムの刷新。より大規模な回収システムを構築することでスケールメリットを享受できるようにする。3、技術開発。人手をかけずに都市鉱石を取り出す装置の開発。など経済合理性を高めることが世界一の都市鉱山を有効活用するためにクリアしなければならない課題であると思われます。

6. 幹事報告

幹事 山畠 弥生 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山 RC 6 月 26 日 (火) → 6 月 26 日 (火)

18:00~ ダイワロイネットホテル和歌山 4F
(最終夜間例会)

新宮 RC 6 月 27 日 (水) → 6 月 27 日 (水)

18:30~ かわみ (最終パートナー同伴夜間例会)

6月は親睦活動月間です

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ②好意と友情を深められるか
- ③みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか

<http://www.kainaneast-rc.jp>

事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：田村 健治 幹事：山畠 弥生 SAA：岩井 克次



E-mail : info@kainaneast-rc.jp

7. I M2組ガバナー補佐あいさつ



塩路 良一 様

今期はなかなか後任が決まりらず、いろんな関係で、ガバナー補佐を2年間務めさせて頂き、本日まで皆さんとご一緒に出来たことガバナー補佐としての充分ご期待に添えなかったかもしれません、ロータリアンとしてこの上ないお役を頂いたと感謝して頑張って参りました。どうもありがとうございました。

RLIのリスカッションリーダー、これは和歌山県下で3人だけ頂戴したのですが、そんな形でロータリーの事を勉強した一つ二つ紹介して私の退任の挨拶と致します。

Ideal of Service 「奉仕の理想」です。 Ideal というの私の理念とか思想とか言うのがわかりやすいと思います。Service は奉仕とかは皆さんどういう風にお考えですか? NPOとか無償の奉仕そういうボランティア奉仕と結びつけると思うのですが、これを奉仕と日本で訳したのは米山梅吉さんといわれております。英語の Service には本来無償のいわゆる大売出しのような奉仕ですね、勉強という意味の方が大きいです。お寺のお方はご存知だと思いますが、勤行といって毎日のおつとめ 日曜礼拝といって欧米ではキリスト教では必ず教会に集まります。それを Service といっているようでそちらの意味です。台湾のロータリーではこれを「ふくむ」と訳しているようです。ロータリー イコール奉仕ではありますが、おつとめという意味がお薦めではないかと思います。クラブ奉仕でしたら、今日は皆さん委員会の報告・計画を話し合うようですが、クラブから与えられたことを一生懸命努めることができます。職業奉仕というの自分の仕事を一生懸やるということだと思います。この理念である奉仕の理想ということで皆さんそれぞれ立派なロータリアンになって頂たいと思いますし、クラブが立派なロータリアンのお集まりとして立派なクラブになっていくように今後も期待を申し上げまして私のお礼のご挨拶にしたいと思います。どうもありがとうございました。

8. 閉会点鐘

次回例会

第 1709 回例会 平成 24 年 6 月 25 日(月)
18:30~ 海南商工会議所 4F
最終例会



海南東ロータリークラブ

いいね!



ニコニコ・BOX

中西 秀文君

土曜日、山畠さんお世話になりました。

山畠 弥生君

1年間ありがとうございました。

角谷 勝司君

NHK「ビジネス新伝説・ルソンの壺」
6月 22 日(金)11:05~再放送されます。

塩路 良一様

ありがとうございました。

(ガバナー補佐)



国際ロータリー ニュース

ウガンダで活躍する職業研修チーム

ウガンダとカリフォルニア州のロータリアンが実施している「Adopt-a-Village (村全体支援)」プロジェクトは、ウガンダのンコンド村の人々の生活向上を支援しています。このプロジェクトはロータリーの重点分野のうち4分野



(水と衛生、基本的教育と識字率向上、疾病予防と治療、経済と地域社会の発展)に関連するもので、特に、職業研修チーム (VTT) が大きな活躍をしています。第 5340 地区のパスト・ガバナーで、2010 年と 2011 年に VTT を率いたフィリップ・ラモーズさんは、次のように話します。「私の主な役割は、プロジェクトを立ち上げることでした。現地の人々が家族単位で行っている農業に生かせるよう、ビジネス戦略、貯金、投資などについての研修を行いました」

チームワークでさまざまな支援

ロータリー財団グローバル補助金を利用し、4名のロータリアンを含む 7 名のチームが、きれいな水の供給システムの設置、診療所のスタッフへの研修、学校のコンピューター室の整備などを実施しました。またこのプロジェクトがきっかけとなり、地元政府が学校や診療所に資金を投入することになりました。この VTT はまた、現地の非政府団体とも協力し、カンパラ北ロータリークラブが中心となって、地元住民に対してマイクロ・ファイナンス (小口融資) に関する研修を実施しました。さらに、別の非政府団体とも協力し、市場価値の高い農作物を生産するための研修を、地元の農家に行いました。